



J O F ニュース

APAN PERA OUNDATION
日本オペラ振興会会報

No.15

表紙photo :
2017年藤原歌劇団公演
「カルメン」
指揮：山田和樹
演出：岩田達宗
写真：池上直哉



目次 • Contents

- | | | | |
|---|---------------------------------|----|---------------------------------|
| 2 | 追悼 アルベルト・ゼツダ氏 | 7 | 「ミスター・シンデレラ」対談
(沢崎恵美 & 大貫裕子) |
| 3 | 総監督ご挨拶(折江忠道/大賀 寛/郡 愛子) | 8 | 公演レビュー |
| 4 | 「セビリャの理髪師」インタビュー
(中井亮一/黄木 透) | 9 | 公演ラインアップ(2017-18)/新入団会員紹介 |
| 6 | 「ノルマ」インタビュー
(小川里美/米谷朋子) | 10 | 外部出演マネージメント オペラ&コンサート情報 |
| | | 12 | JOF・育成部 お知らせ |

追悼 アルベルト・ゼツダ



マエストロ・ゼツダに寄せて

藤原歌劇団総監督 折江忠道

3月6日、ゼツダ先生の突然の訃報を知りました。

昨年12月1日の米寿祝賀記念コンサートの時はあんなにお元気だったのだから、と自ら言い聞かせながらも、驚愕と哀嘆の念に溢れています。稽古期間中何度か食事を一緒に食べた時、日本酒を晩酌にし食卓に用意された日本食をゆつくりと、しかしながら全て完食され、大変満足気にロッシーニ談話に花を咲かせていたマエストロ。何故？と悲しみよりもむしろ怒りにも似た感情が全身を駆け巡ります。

只々正確に音を転がす事がロッシーニ音楽の真義ではないと力説し、音を奏でるに際しての息遣い、間の取り方、音色の多彩さ等々、多岐にわたり藤原歌劇団の歌手達に薫陶を授け根気よく育てあげてくださったゼツダ先生に、心からの感謝の意を表すと同時に深い哀悼の念をもってご冥福をお祈り申し上げます。





藤原歌劇団総監督
折江 忠道

斜めに射し込んでいた陽の光がいつの間にか頭上高くから注ぎ始め春の訪れを実感する今日この頃、二〇一七年度シリーズ公演が「いよいよ」セビリヤの理髪師」をもって開幕となります。今シーズンのプログラムは昨年度の基本中の基本的なベルカント作品を経た者ならではの成果を問うべく演目を網羅しています。ベルカントの至宝「ノルマ」、「ルチア」そしてヴェリズモオペラの定番「道化師」。今回は「道化師」との抱き合わせ作品としてマズネ作曲の「ナヴァラの娘」を上演します。余り知られていない作品ではありますが、いわゆる繊細優美なマスネ作品からは想像も出来ない程の荒々しさに満ちた曲は聴く者にとって驚きの的となる事でしょう。

何れにせよ今シーズンの演目は藤原歌劇団の許容力量が試される作品群である事に間違いありません。ベルカント作品をしっかりと着実に歌い演じる事の行く先にはイタリアオペラの真価と果てしない可能性が存在します。この可能性を目指し歌手、スタッフ一丸となって取り組める事の喜びと感謝の念をもって今シーズンも感動の舞台創りに向けて精進邁進する覚悟です。どうぞよろしくお願致します。

春陽呼起芽吹、舞台誘起感動



日本オペラ協会総監督
大賀 寛

原嘉壽子さんの追悼公演「よさこい節」の公演を終えました。音楽とドラマの一体化、自らの台本による作劇法のさえ。岩田達宗氏と田中祐子さんの綿密な連携による舞台形象は、キャストの熱演と相俟ち、この名曲の感動を両日共に満席の皆様にも伝える事ができました。世界のプリマドンナである佐藤美枝子さんの、良い発声であれば、どの言語にも通用するとの発言、そして演奏での実証は偏見に悩む人達にとって大きな勇気となることでしょう。見事な舞台であったと自負しておりますが、更なる深まりへの課題として、現代語法による音楽とドラマとの一体化のなかでの「語り」の唱法の習得。正しい理論に支えられたシステムの確立が望まれます。また現代に伝統を生かすオペラ作りのなかで、伝統様式の正しい基本、所作振舞の習得が不可欠となっております。

六十年にわたって、すばらしい人達との出逢い、日本文化の創造を共に関与出来た事は誠に幸せでした。しかしこれも財団あつてのこと、一九八一年、下八川氏と合意。それぞれの理念に基づく事業振興永続化を願いとして財団を設立出来た事は誠に幸運でした。日本における洋楽の歴史はまだ浅く、理念に基づく活動を続ける日本オペラ振興会の存在は貴重です。那愛子さんのもと団会員の皆様の強い意志の力ですますの隆盛を願っております。



日本オペラ協会
総監督補
郡 愛子

来年度より日本オペラ協会の総監督を務めさせて頂くこととなりました。率直に申しまして、創立以来現在に至るまで約六十年にも亘り、同協会を牽引して来られた大賀寛先生から総監督を引き継ぐことには、たいへんな責任と重圧を感じます。私は(公財)日本オペラ振興会の二本柱であります日本オペラ協会と藤原歌劇団の両団体のもとで、四十余年に亘り多くの貴重な体験を積み重ねてきました。今あらためて感じますことは、両団体ともに極めて優れた人材の宝庫であることです。先ずは両団体の人材交流を盛んにし、歌い手の皆様の個性を伸び伸びと発揮して頂くことが、日本オペラ協会の発展に繋がるものと確信いたしております。

近年、海外から日本を訪れる観光客の消費傾向が、徐々に「モノ」から「日本の文化や生活様式の体験」に変化してきているようです。また、二〇二〇年の東京五輪の開催が決まっております。また、どの分野でも「日本独自のものをアピールする傾向が顕著に見えてきております。音楽分野では正に今こそ「日本オペラ」の出番ではないでしょうか。微力ながら、豊かな国際感覚を持ち合わせる次世代のリーダーへの、「繋ぎ役」となれますようでしたら幸いに存じます。

セビリヤの 理髪師

アルマヴィーヴァ伯爵役

中井亮一／黄木 透 インタビュー

4/29
(土)

中井亮一

Ryoichi Nakai



きっかけとなっています。特にROFでは連日ゼツダ先生の情熱的な指導を受け、実体験としてロッシーニの音楽の魅力を知ることが出来ました。それからですね、ハマったのは(笑)。

●ロッシーニ作品の中で、生演じられたい役はありますか？

やはりずっと歌い続けたいと思うのは、アルマヴィーヴァ伯爵ですね。1役で4変化もあるオペラというのはテノールにとってはあまり無い役回りです。演じ甲斐があったとしても楽しいです。個人的にはセリア(悲劇)も好きで、ゼツダ先生の指揮で初めて歌ったのが藤原デビューとなった「タンクレーディ」でした。私の声はレツジエロですが、比較的充実した中音域も持ち合わせていると思うので、今後はセリアの役も演じてみたいですね。アルマヴィーヴァ伯爵を初演したのは、「フィガロの結婚」の伯爵役や「ドン・ジョヴァンニ」の題名役でも活躍していた、バリテノールのマヌエル・ガルシアでした。当時のオペラ界で最高レベルの歌手だった彼の歌唱技術を念頭に、ロッシーニはアルマヴィーヴァ伯爵の音楽を作曲しています。初演時は題名も「アルマヴィーヴァ」だったそうです。

●今までに演じたアルマヴィーヴァ伯爵で一番印象に残っていることはありますか？

今回で6プロダクション目の出演になります。大アリアを初めて歌った時に、歌うのが本当に大変でした。そこで思いついたのが、懐にゼリー状栄養ドリンクのバックに水を入れたものを忍ばせ、間奏の僅か十数秒の間にチュッ

と差し水をして事なきを得た、というのが一番の思い出です。(苦笑)。私にとってロッシーニ作品を歌うことはマラソンを走っているのと同じ感覚なので、かなりのエネルギーを使うんです。ロッシーニテノールは、フロレスのように説得力をもって歌わなければ評価をされにくく、私は彼のように楽に歌うことができないので、常に全神経を研ぎ澄まし、持てる技術を最大限に引き出して臨んでいます！

●今回藤原歌劇団公演では初めてアルマヴィーヴァ伯爵を演じられますが、どんなところに注目して聴いていただきたいですか？

公演全体としては、藤原歌劇団といえば「歌声」をやはり一番に聴いてもらいたいです。脇園彩さんは超難関のスカラ座の研修所で研鑽され、スカラ座の舞台でもロジーナ役を演じられています。本場イタリアの新鮮な香りが届くのが待ち遠しいですね。また芸達者で、何より歌い手として本当に実力のある藤原のキャストの皆さんのキラキラした姿にご注目下さい！

●中井さんが出演されるのを心待ちにされている皆さまに一言！

日本人のDNAではオペラ・ブッファを演じるのは難しいと言われることもあるようですが、キャストも合唱もブッファの楽しみ方を熟知しているのは藤原なればこそ、だと思えます。良い意味で小難しい「哲学」などが無く、その魅力的な音楽だけが心に残る。…というのがロッシーニ喜劇の醍醐味。心から楽しんで頂けるように、一生懸命頑張ります！

●公式サイトのコナー「CiaOpera」でもロッシーニ作品は特別だと語っていらっしやいます。中井さん「ロッシーニのイメージが強いですが、そもそもロッシーニ作品のどこに惹かれ、極めようと思われたのですか？

ありがたいことにロッシーニ作品を歌わせて頂く機会はたくさん頂戴していますが、必ずしも100%自分に合っているわけではないと思っています。学生の頃はロッシーニの作品を一曲も歌ったことがありませんでした。歌の世界を志すことを決めて30歳の時にイタリアに留学をした後に、イタリアの先生の勧めで初めてロッシーニに出会ったので、良い意味

で先入観が無かったです。留学中、ロッシーニを始めチマローザ、モーツァルトの作品を勉強していく中で、歌っていて疲れにくいというのを感じましたし、音域が広がっていくという自覚もありました。その点では自分の声に合っている分野だと思います。それから、ファン・デイエゴ・フロレスという新しい時代のロッシーニ歌いと呼ばれる同世代のスター・テノールがその頃爆発的に人気があったこと、また2007年にロッシーニ・オペラ・フェスティバル(ROF)に参加した時に初めて出会った、ROFの音楽監督のアルベルト・ゼツダ先生の存在が、私がロッシーニを歌う大きな



4/30
(日)

黄木 透

Tobru Ouki

●今回藤原デビューおめでとうございます！
率直なお気持ちをお願いします！

率直に、とても光栄に思っています。今までにもいくつかオペラに出演はしてきましたが、こんな大きな団体でデビューできるのは嬉しいことです。それとともに責任も強く感じています。役割を果たせるように頑張りたいと思っています。実は高校生のときから脇園彩さんとは顔なじみで、組は違いますが一緒のプロダクションで出演できることはとても嬉しいことです。

●今までにアルマヴィーヴァ伯爵を演じられ

たことがあると伺っていますが、思い出に残っているエピソードはありますか？

藝大にて楽曲やオペラの言語指導をされているエルマンノ・アリエンティ先生の企画で初めてアルマヴィーヴァ伯爵を歌いました。イタリア人にしかわからないような細かい言葉のやりとりを教えていただき、台本を読み込む醍醐味を知ることができたのはとても興味深かったです。貴族であるアルマヴィーヴァ伯爵が貴族ではない娘ロジナと手をとって未来を歩いていく、という当時からみたら現代的な発想は、現在の私たちにもどこか共感できるストーリーではないかと思っています。今の若い方々に勇気を与えられるような作品だと感じています。

●オペラ歌手を志したきっかけを聞かせてください。

小さい頃は音楽が苦手で、しかも人前で何かをするというのが好きではなかったんです。小学校の高学年になった時に音楽を教えてくださいださった先生がカリスマ先生と呼ばれていた方で、その先生の授業を受けるようになってから音楽がとても楽しくなって、興味がなかったものがこんなにも好きになるんだということに衝撃をおぼえました。それから地域の少女合唱団に参加をして、音楽に親しんでいます。高校生の時は合唱指揮もしていてクラスで優勝したりと、気づけば音楽が無くてはならないものになっていました。大学進学の際に悩んだときに音大に行きたいと思ったのですが、両親からは「社会人になってからでも

遅くはないんじゃないの？」と言われ、「今じゃなきやいけないんだ！」と半ば反対を押し切って音楽の道を志し、藝大に入学をしました。その大学時代は自分の声を模索していた4年間で、大学院も受けたのですがなかなか最後の扉が開かず、歌手としての道を諦めようと考え教

職を志した時期もありました。そんな時に東日本大震災がおこり、今まであった生活が根底から覆された時に、自分が後悔しないように生きていこうと決心をし、もう一度プロの道を歩んでみようと思いました。最後に一度だけ藝大の大学院を受験しようと思い臨んだ結果、合格することができました。今思えば、恐らくそれまでとは違ったパッションで歌うことができたんだと思います。

音楽でどう社会に関わっていくのかというのはいつも模索しているんですが、実は今大学院生の時から関わっている中学校の合唱部の指導にも行かせてもらっていて、子供たちに音楽を教えたいという気持ちからも離れられず、これからも指導者としてもやっていけたらいいなと思っています。

●今までにたくさんのおペラに出演されていると思いますが、オペラの面白さはどこにあると感じていらっしゃいますか？

私の今までのオペラ体験のほとんどは、今回の演出でもある松本重孝さんと一緒にさせていただきました。大学院の授業の時に、指導を受けるという気持ちで授業に臨んでいたのですが、指揮者、演出家からそれぞれ違うことを言われた時に、どちらを聞けばいいのか悩んでいたん

です。そんな時に、松本重孝さんから「ここはオペラの現場なんだから、指揮者、演出家、そして歌手の考えをぶつけてくれな」とオペラは創れないんだ」ということを教えていただき、これがオペラなのか…と知りました。それから歌手が考えていることを歌で示して初めてオペラが生まれる、という面白さを体感しました。

●最後に「セビリヤの理髪師」を楽しみにされている皆さまに、一言お願いします！

今しかできない、今の感覚でしかぶつけることができないALMA VIVAなアルマヴィーヴァ伯爵を演じたいと思います！

■ 藤原歌劇団公演 アルテリッカしんゆり2017

ロシーニ作曲

セビリヤの理髪師

4月29日(土)・30日(日)

14時開演

テアトロ・ジーリオ・シウワ

ベッリーニ作曲

ノルマ NORMA



出演者インタビュー

ノルマ 7/2

小川里美



©Satoshi Shimada

●今回はタイトルロールのノルマ役でのご出演ですが、この「ノルマ」への想い入れや纏わるエピソードはありますか？

非常に難しい役だと思います。これまで様々なプリマドンナが歌ってきた、伝統と歴史のある役ですし、お客様が舞台に期待するものもとても大きいのではないかと思います。それだけに演奏の機会はそう多くないと思います。私自身映像を除いては、日本でノルマを見たことがないです。

音楽面に関しては、私は歌を始めた頃はメゾ・ソプラノでベッリーニやロッシーニ、ドニゼッ

ティなどを中核に勉強していました。ソプラノになつてからはとにかくブッチェーニと縁があつて、ブッチェーニが中核で周りにその他のレパートリーがあるという感覚があつた。そんな中で数年前から、信頼する音楽仲間「ベルカントを歌つてみては？」と言われて再びベルカントを身近に感じていた矢先にこのオファーをお受けしました。

●今回世界的プリマドンナのマリエツァ・デヴィーアさんも同役をやられますが、デヴィーアさんとは同プロダクションの別日同役は二度目と伺っています。デヴィーアさんとの思い出や今回一緒にされるお気持ちを聞かせてください。

ありがたいことです。デヴィーアさんとは2012年にジェノヴァのカルロフェリーチエで「トゥーランドット」のリニューアルで一緒にしました。彼女はそれがリユー役のデビューで、デビューというのは何にしても緊張感のあるものだと思いますので、ご挨拶はしましたがお話をすることは遠慮していました。今回は私がロールデビューですから逆パターンですね。またお話できないかもしれませんが(笑)。声や音楽性は勿論音楽に対する姿勢が実直で、尊敬しています。

●最後に公演を心待ちにされているファンの方々に一言お願いします！

栗國さんの演出は二度目ですが、再び一緒にできるのがとても嬉しいです。きつととても美しい舞台になると思います。7月2日、藤原歌劇団の若手が一丸となつて舞台を努めます。あたたかく応援していただけましたら幸いです。

アダルジーザ 7/2 米谷朋子



●今年2月にメルセデス役で藤原デビューを果たした米谷さん。今回大抜擢ですが、この公演にかける思いを聞かせてください。

私の藤原での活動は昨年からは始まり、「カルメン」のメルセデス役をいただいた時から恵まれた環境だということを実感しました。今回の「ノルマ」はあまりにも大役で戸惑いもありましたが、このアダルジーザ役は今歌うべき役でもあるので、今後への所信表明のつもりで臨みたいと思っています。

アタルジーザは他のメゾの役に比べても個性が強い役ではなく、珍しく普通の女性。このオペラで印象深いのは、女性同士の友情がテーマだと思っています。アイターダとアムネリスのような偽の友情ではなく、本物の友情です。そんなところは共感して聴いていただけるのではないかなと思っています。

●ベッリーニの作品にはどんな印象をお持ちですか？

シチリア島が好きで、以前ベッリーニが生ま

れ育ったカタリーナを訪れた時に、教会の中にあるベッリーニのお墓を見ました。そこにはノルマ、アミーナ、ジュリエッタなどオペラの主人公が寄り添って描かれていて、イタリアの人たちの彼に対する愛をとっても強く感じました。昨年ロメオのアンダー・スタディを務めた時に、愛される音楽を残したんだと改めて感じました。そんな美しい作品に没頭していただけるような演奏ができればと思います。

●プライベートではお子さんもいる米谷さん。歌手との両立は大変なんじゃないですか？

7歳になる息子がいるのですが、子供への伝え方を考えることが表現の幅を広げている気がしているので、歌に返ってきていると感じています。夫も歌手でお互いの大変な時期がわかるので、支え合つて子育てができるのはラッキーです(笑)。

●「ノルマ」公演を楽しみにされている皆様へ一言お願いします！

クラシック音楽は、自分から一歩踏み出して、つまり会場に行つて初めて音楽が近付いて来られると思っています。カタリーナの鶯と呼ばれているベッリーニの美しい音楽で、最も大切な作品でもある「ノルマ」を是非会場に聴きにいらしてください。

「ノルマ」

2017年
7月1日(土)
2日(日)
4日(火)

14:00
日生劇場

● チケット
好評発売中

●日本オペラ協会公演

ミスター・シンデレラ

伊集院薫 役
インタビュー

沢崎恵美
&
大貫裕子



参加できるのは醍醐味です。難しいのは言葉、内容を伝えるということ。日本語で歌うとついベルカントを忘れてしまいそうになるので、そこはやはり難しいですね。

大貫 楽しさと難しさは同じところにあると思うんです。いかに美しい日本語を声に乗せて届けるか、というところが難しいところでもあり、それがうまくいった時は楽しいですね。以前私が出演した時はまだ字幕が無かったので、死に物狂いで日本語を届けなければならぬと思っていましたが、近年は字幕が入るようになって、良い意味で声の美しさとか様式美とかに神経を注げるようになっていっていると感じています。

沢崎 西洋オペラのように外国語の意味をわかっていたらいいなと思うんですけど、やはり漢字で見ると内容も理解していただきやすいですね。

大貫 目で見ることによってお客様にとっても『聞き取らなきゃ』というストレスが半減されるので、より楽しんでいただけるような気がしますね。
沢崎 今回の『ミスター・シンデレラ』は室内オペラで字幕はありませんが、この作品は言葉がストーリーにお客様にお届けできますので、どうぞご安心ください。

●今回の「ミスター・シンデレラ」は「ミカル」作品ですが、今回はどのように演じられようと思っ
ていらっしゃいますか？

大貫 私は前回13年前の『ミスター・シンデレラ』の同役を歌っていますが、その時は必死だったの
で…（笑）今回は少し余裕をもつて歌うことができ
るかなと思っています。前は年上のキャスト



沢崎恵美
両日 14:00

の方たちに囲まれていましたが、今回は若い人たちの共演で、当時とは掛け合いやニュアンスが変わってくるのではないかと思います。年齢とともに私の中での「夢」の意味が変わってきているので、今の方が薫に共感できるんじゃないかとも思っています。前回とは違った視点で演じられると思うので、とても楽しみです。

沢崎 大貫さんにいろいろお聞きしつつこれから勉強をしていきたいと思っていますが、今回演じる薫の気持ちがなんとなくわかるんですね。家族と一緒に生活していくうえで愛情だったり倦怠期があったり…

大貫 多かれ少なかれ皆さん経験していることですよ。

沢崎 そういう部分でも自分の引き出しと繋げつつ、松本重孝さんと久しぶりにご一緒するので、たくさん刺激をいただいて新しいキャラクターを生み出すことができるのが今から楽しみです。また、那総監督になって初めての室内オペラなので、そういった意味でも楽しみですし、ほっこりするストーリーでお客様にも何か感じていただけたらいいなと思っています。

大貫 前は鹿児島オペラ協会の方々と合同の公演でした。この作品はもともと鹿児島で制作されたオペラなので、地元の方々がとても大切

にされていることが良くわかって、短い稽古期間で一緒にやらせていただいたので『これでもいいのかな』と手探りだった部分もありました。最近も鹿児島で再演されたとお聞きし、本当に鹿児島で生まれ大切に育てられた作品なんですよ。

沢崎 今回本公演でとりあげさせていただくのは、ある意味責任もありますね。

大貫 鹿児島の方々がっかりされないような公演にしたいですね。

●今回の公演に向けて、一言ずつお願いします！

沢崎 今まで演じたことのなかったキャラクターに挑戦するので、是非観に来ていただけたらと思います。オペラとはいえ全くかたくな、最近公演した日本オペラの作品とは雰囲気の違い、内容も解りやすく、お楽しみいただけだと思います。

大貫 今回は若手からベテランまで、広い年齢でのキャストインクになっているので、ベテランは家族愛・夫婦愛でほろっとさせられるような、若い方はエネルギーが爆発させられるような公演になるんじゃないかと思えます。また今回は小劇場でお客様と舞台の距離が近いので、ダイレクトに伝えられると思います。これからも頑張つて生きていこうね！とお客様に感じていただけるような公演にできたらと願っています。

日本オペラ協会公演

伊藤康英作曲

「ミスター・シンデレラ」

2017年

10月14日(土)
15日(日)

14:00/18:30

新国立劇場小劇場

●5/12(金)チケット発売



大貫裕子
両日 18:30

●お二人は日本オペラを歌っていらっしゃるイメージがありますが、日本オペラを歌う面白さ、難しさはどこにあるのでしょうか。

沢崎 日本オペラの時代設定は着物を着用することが多いので、今の私生活ではあまり着ない着物でオペラを歌う、というのは楽しみです。また、日本人として日本の作品を残していくことに

藤原歌劇団
公演

ベッリーニ作曲「カプレーティ家とモンテッキ家」

2016.9/10・11
新国立劇場オペラバレス



ロミオとジュリエットの純愛ストーリーオペラ
珠玉な音楽と優美な舞台で魅了

シェイクスピアの有名な戯曲をもとに作曲された、ベッリーニの流麗な音楽が光る「カプレーティ家とモンテッキ家」を14年ぶりに上演しました。ベルカントオペラの傑作とも称されるこの作品は、珠玉な音楽も然ることながら、あまりにも有名なストーリーに会場では涙を見せるお客様もいらっしゃいました。陰影のある美しい舞台と藤原を代表する歌手の共演はハイレベルな公演を生み出し、繊細なイタリア・オペラもご堪能いただけただけではないでしょう。



●指揮 山下一史 ●演出 松本重孝 ●出演 ロメオ：向野由美子／鳥木弥生 ジュリエッタ：高橋薫子／光岡暁恵
テバルド：笛田博昭／所谷直生 ロレンツォ：東原貞彦／坂本伸司 藤原歌劇団合唱部 東京フィルハーモニー交響楽団

カペッリオ：安東玄人／豊島雄一

藤原歌劇団
公演

アルベルト・ゼツダ スペシャルコンサート ～米寿を記念して～

2016.12/1
Bunkamuraオーチャードホール



ロッシェニ・オペラ界の至宝
アルベルト・ゼツダ&藤原のラストコンサート

世界で権威あるマエストロ、アルベルト・ゼツダ氏の米寿をお祝いするコンサートが行われました。この公演の僅か3ヶ月後、ゼツダ氏は逝去され、奇しくも藤原歌劇団との15年の歴史に終止符を打つコンサートとなってしまいました。日本では滅多に演奏されないオラトリオ「テーティとペレーオの結婚」と、ロッシェニの宗教音楽としての最高傑作「スターバト・マーテル」は共に名演と呼べる公演となり、マエストロ・ゼツダの躍動感と繊細さが織りなす音楽は、いつまでも心に残る演奏会となりました。



●指揮 アルベルト・ゼツダ ●出演 「テーティとペレーオの結婚」テーティ：佐藤美枝子 ペレーオ：中井亮一 チェーレレ：光岡暁恵 ジュノーネ：鳥木弥生
ジョーヴェ：角田和弘 「スターバト・マーテル」ソプラノ：砂川涼子 メゾソプラノ：向野由美子 テノール：村上敏明 パス：伊藤貴之
藤原歌劇団合唱部 東京フィルハーモニー交響楽団

藤原歌劇団
公演

ビゼー作曲「カルメン」

2017.2/3・4・5 東京文化会館大ホール
2/11 愛知県芸術劇場大ホール



記念すべき山田和樹オペラデビュー
美しい舞台に舞う二人の妖艶なカルメン

今最も人気のある指揮者、山田和樹氏のオペラデビューを飾ったのがこの「カルメン」。若さが溢れエネルギー且つP(ピアノ)を活かす音楽作りは、高い評価を得ました。また岩田達宗の細部にまでこだわった演出にも注目があつまり、総合的にも高水準な舞台となりました。招聘のニコリッチ、コヴァリンスカ、王は他キャストとの息もピッタリ。藤原歌劇団始めて以来の愛知公演も多くのお客様にご来場いただき、当団の可能性を広げ、意義のある公演となりました。



●指揮 山田和樹 ●演出 岩田達宗 ●出演 カルメン：ミリヤーナ・ニコリッチ／ゴージャ・コヴァリンスカ ドン・ホセ：笛田博昭／藤田卓也
エスカミリーヨ：須藤慎吾／王 立夫(ワン・リーフ) ミカエラ：小林沙羅／伊藤 晴 スニガ：伊藤貴之／田島達也 モラレス：押川浩士／月野 進
フラスキータ：平野雅世／尾形志織 メルセデス：米谷朋子／増田 弓 ダンカイロ：安東玄人／坂本伸司 レメンダード：狩野 武／琉子健太郎
藤原歌劇団合唱部 東京少年少女合唱隊 平富恵スペイン舞踊団 日本フィルハーモニー交響楽団

日本オペラ協会
公演

原 嘉壽子作曲「よさこい節」

2017.3/4・5
新国立劇場中劇場



25年ぶりの上演！原嘉壽子追悼公演
胸をうつ音楽と純信お馬の悲恋情話に感動

2014年に逝去された原嘉壽子氏の追悼公演として、25年ぶりにとりあげられたオペラ「よさこい節」。高知は幕末土佐に実在したヒロインの、ひたむきな愛を貫く悲恋物語をもとに制作されたこの作品は、幸福と悲劇のコントラストがあまりにも切なく、会場も涙に包まれ高い評価を得ました。田中祐子氏、岩田達宗氏のコンビは名舞台を創り、大賀寛総監督体制の集大成となった本公演は日本オペラの実績を改めて感じ、今後の発展に益々期待をしていただける公演となりました。



●指揮 田中祐子 ●演出 岩田達宗 ●出演 純信：泉 良平／清水良一 お馬：佐藤美枝子／沢崎恵美 慶全：所谷直生／小山陽二郎
お徳：きのしたひろこ／木村圭子 久万：二渡加津子／西野郁子 弥七：市川和彦 辰：鈴木美也子／小林悦子 亀：田中美佳／中川悠子
寅：座間由恵／太田祐子 柳仙：鳴海優一／川久保博史 歌京：井上白葉／別府真也 行基聖人：和下田大典／豊島雄一
日本オペラ協会合唱団 多摩ファミリーシンガーズ 東京ニューシティ管弦楽団

公演ラインアップ (2017-18)

Opera

■藤原歌劇団公演 (アルテリッカしんゆり2017)

「セビリヤの理髪師」 ロッシーニ作曲

指揮：佐藤正浩／演出：松本重孝

2017年4月29日(土)・30日(日) 14時開演

テアトロ・ジューリオ・ショウワ

■藤原歌劇団共同制作公演

「ノルマ」 ベッリーニ作曲

2017年7月1日(土)・2日(日)・4日(火) 14時開演

日生劇場

2017年10月22日(日) 14時開演

川崎市スポーツ・文化総合センター大ホール

2017年10月28日(土) 14時開演

滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール

■日本オペラ協会公演

「ミスター・シンデレラ」 伊藤康英作曲

指揮：坂本和彦／演出：松本重孝

2017年10月14日(土)・15日(日)

14時／18時30分開演

新国立劇場小劇場

■藤原歌劇団公演

「ルチア」 ドニゼッティ作曲

指揮：菊池彦典／演出：岩田達宗

2017年12月9日(土)・10日(日) 14時開演

Bunkamuraオーチャードホール

■藤原歌劇団公演

「ナヴァラの娘」 マスネ作曲

「道化師」 レオンカヴァッロ作曲

指揮：柴田真都／演出：マルコ・ガンディーニ

2018年1月27日(土)・28日(日) 14時開演

東京文化会館大ホール

2018年2月4日(日) 14時開演

愛知県芸術劇場大ホール

■日本オペラ協会公演

「夕鶴」 團伊玖磨作曲

指揮：園田隆一郎／演出：岩田達宗

2018年2月17日(土)・18日(日) 14時開演

新宿文化センター 大ホール

(共同プロダクション公演：

2018年3月10日(土)・11日(日) 14:00開演／兵庫県立芸術文化センター)

(文化庁公演予定：

2018年3月21日(水) 山形県南陽市／3月24日(土) 秋田県湯沢市)

Concert

日本歌曲連続演奏会 No.67

祝米寿～大賀寛の愛した歌たち～

2017年5月21日(日) 14時開演

昭和音楽大学南校舎 ユリホール

デビューコンサート2017 vol.1

2017年6月10日(土) 14時開演 イノホール

Summer Concert 2017

2017年7月9日(日) 昭和音楽大学南校舎 ユリホール

テノールの響宴

2017年9月24日(日)

渋谷区文化総合センター大和田 さくらホール

デビューコンサート2017 vol.2

2017年11月11日(土) イノホール

Management

党主税 バリトンリサイタル (仮)

2018年1月20日(土)

トッパンホール

新入団・会員 紹介

藤原歌劇団 正団員

▶推薦による



こばやし さら
小林沙羅(S)



うえの ひろゆき
上野裕之(Br)

▶オーディションによる



い ひょんじゅう
李 炫周(S)



いしはら たまこ
石原妙子(S)



なかはた ゆみこ
中畑有美子(S)



むらかみ たつや
村上達哉(T)

藤原歌劇団 準団員

▶オーディションによる



あかね じゅんこ
赤根純子(S)



こたまさちこ
児玉祥子(S)



しだ えりこ
志田絵里子(S)



なかはら さおり
中原沙織(S)



ふじかわ さき
藤川咲季(S)



みわ はな
三輪 英(S)



いちかわ ゆういちろう
市川有一郎(Br)

Schedule & Information

平成29年度 外部出演マネジメント オペラ&コンサート (2017年4月~9月)

(2017年3月21日現在)

【2017年】

4/9(日)・12(水)・15(土)・19(水)・22(土)
新国立劇場「オテロ」
出演:村上敏明、伊藤貴之
小林厚子(カヴァー)
会場:新国立劇場オペラパレス

4/10(月)
東京交響楽団メンバーによる
アフタヌーンコンサートVol.12
(アイーダシリーズ)
出演:山口佳子
会場:八王子市学園都市センター イベントホール

4/10(月)
月曜フレッシュコンサート
出演:相羽薫
会場:ミュージックレストラン アルテリーベTOKYO

4/17(月)
月曜フレッシュコンサート
出演:水野裕子
会場:ミュージックレストラン アルテリーベTOKYO

4/20(木)・23(日)・26(水)・29(土)
新国立劇場「フィガロの結婚」
出演:小山陽二郎、久保田真澄
安東玄人(カヴァー)
会場:新国立劇場オペラパレス

4/22(土)
砂川涼子 ソプラノ・リサイタル
~愛歌(カンツォーネ・ダモーレ)~
出演:砂川涼子
会場:ヤマハホール

4/23(日)
和光市民合唱団第24回定期演奏会
ヴェルディ「レクイエム」
出演:廣田美穂、上本訓久、須藤慎吾
会場:和光市民文化センター
サンアゼリア大ホール

5/5(金)
Concert for KIDS
~0才からのクラシック~
出演:大森智子
会場:ホテルニューオータニ幕張

5/6(土)
八王子市市制100周年記念
オペラ「アイーダ」(セミ・ステージ形式)
出演:小林厚子、村上敏明、森口賢二、泉良平
澤崎一了、山口佳子
会場:オリンパスホール八王子

5/8(月)
月曜フレッシュコンサート
出演:下瀬太郎
会場:ミュージックレストラン アルテリーベTOKYO

5/13(土)
仙台ロータリークラブ80周年コンサート
出演:砂川涼子
会場:仙台メトロポリタンホテル

5/28(日)
Concert for KIDS
~0才からのクラシック~
出演:大森智子
会場:Hakuju Hall

5/29(月)
月曜フレッシュコンサート
出演:泉萌子、高橋未来子
会場:ミュージック・レストラン アルテリーベTOKYO

6/3(土)・4(日)
マーラー:交響曲第8番「千人の交響曲」
出演:高橋華子
会場:Bunkamuraオーチャードホール

6/5(月)
月曜フレッシュコンサート
出演:大内杏奈、中川悠子
会場:ミュージック・レストラン アルテリーベTOKYO

6/12(月)
稲城市中学校音楽鑑賞教室
出演:村上敏明
会場:パルテノン多摩

6/12(月)
月曜フレッシュコンサート
出演:高嶋康晴、市川宥一郎
会場:ミュージック・レストラン アルテリーベTOKYO

6/12(月)・13(火)
にっぽん丸ワンナイトクルーズ
出演:高橋薫子
会場:クルーズ船にっぽん丸

6/18(日)
音楽は時代を超えて
出演:佐藤康子
会場:那須野が原ハーモニーホール

6/18(日)・24(土)
NISSAY OPERA 2017
オペラ「ラ・ボエーム」
出演:砂川涼子、清水良一、小田桐貴樹
会場:日生劇場

6/25(日)
オクスナー・ステパニユック リサイタル
出演:オクスナー・ステパニユック
会場:三島市民文化会館

6/25(日)
合唱物語「わたしの青い鳥」2017
出演:伊藤晴
会場:北九州芸術劇場 中劇場

6/30(金)
ニッセイ名作シリーズ2017
オペラ「ラ・ボエーム」
出演:砂川涼子、清水良一
会場:三重県文化会館

7/7(金)
オペラ「ひかりのゆりかご」 熊になった男
出演:高橋織子、光岡暁恵、神田さやか、庄智子
鈴木美也子、中ノ森怜佳、鳴海優一
岡山肇、三浦克次、水野洋助、和下田大典
藤原歌劇団合アンサンブル
会場:目黒パーシモン大ホール

7/8(土)
オーケストラ・アンサンブル金沢
第391回定期演奏会公演マイスター・シリーズ
出演:鳥木弥生
会場:石川県立音楽堂コンサートホール

7/10(月)~15(土)
新国立劇場 高校生のためのオペラ鑑賞教室
「蝶々夫人」
出演:小林厚子、村上敏明
会場:新国立劇場オペラパレス

7/13(木)
ニッセイ名作シリーズ2017
オペラ「ラ・ボエーム」
出演:砂川涼子、清水良一
会場:滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール

7/14(金)・15(土)
創立70周年特別企画
第55回大阪国際フェスティバル2017
バーンスタイン「ミサ」
出演:森山京子
会場:フェスティバルホール

7/19(水)
ランチタイム・クラシック・コンサート
出演:沢崎恵美
会場:東京・宝くじドリーム館

7/30(日)
第7回 名歌手たちの夢の饗宴
オペラガラコンサート
出演:砂川涼子、光岡暁恵、村上敏明、牧野正人
森口賢二
会場:たましんRISURUホール

7/30(日)
OPERAMANIA 2
出演:石原妙子、山口安紀子、鳥木弥生、及川尚志
小笠原一規、笛田博昭、藤田卓也、藤原藍子
会場:杉並公会堂 大ホール

8/5(土)
練馬区独立70周年記念コンサート
「真夏の第九」
出演:鳥木弥生
会場:練馬区文化センター

8/13(日)
京都市交響楽団 第615回定期演奏会
出演:藤田卓也
会場:京都コンサートホール・大ホール

8/19(土)
Concert for KIDS
~0才からのクラシック~
出演:大森智子
会場:浦安音楽ホール

8/20(日)
東京交響楽団
東京オペラシティシリーズ第99回
出演:鳥木弥生
会場:東京オペラシティコンサートホール

8/22(火)~24(木)
平成29年度 心に残る記念事業
「中学生のためのコンサート」
出演:伊藤貴之
会場:豊田市コンサートホール

8/23(水)・24(木)
上田市アウトリーチ&
ワンコインマチネコンサート
出演:村上敏明
会場:上田市交流文化芸術センター 他

8/27(水)
オーケストラ・アンサンブル金沢
ヴェルディ「レクイエム」
出演:砂川涼子、鳥木弥生、所谷直生、伊藤貴之
会場:富山県民会館

9/1(金)・3(日)・5(火)・6(水)
セイジオザワ松本フェスティバル
「子どもと魔法」
出演:牧野真由美
会場:まつもと市民芸術館 他

9/5(火)・6(水)・8(金)
北九州 響ホール
アクティビティ&ワンコインシリーズ
出演:中井亮一
会場:響ホール 他

9/8(金)
ニッセイ名作シリーズ2017
オペラ「ラ・ボエーム」
出演:小田桐貴樹
会場:長崎ブリックホール

9/9(土)
はじめての演奏会オペラ
~イタリヤ・オペラ編~
出演:村上敏明
会場:Bunkamuraオーチャードホール

9/11(月)・12(火)
にっぽん丸ワンナイトクルーズ
出演:森口賢二
会場:クルーズ船にっぽん丸

9/13(水)
ニッセイ名作シリーズ2017
オペラ「ラ・ボエーム」
出演:小田桐貴樹
会場:北九州ソレイユホール

9/22(金)
「クラシッククラブ」
「ベスト・オブ・クラシック」公開収録
出演:砂川涼子
会場:沖縄シュガーホール

9/24(日)
園田隆一郎のオペラを100倍楽しむ方法
Vol.5
出演:佐藤康子
会場:藤沢市民会館 小ホール

9/26(火)・27(水)
深川アウトリーチ
出演:大森智子
会場:深川市内(予定)

9/30(土)
東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団
第50回ティアラ定期「夕鶴」
出演:谷友博
会場:ティアラこうとう 大ホール

受託オペラ

【2017年】

5/7(日)
帝国ホテル ジ・インペリアルオペラ
藤原歌劇団公演「夕鶴」
出演:大貫裕子、中鉢聡、清水良一、豊島雄一 他
会場:帝国ホテル 富士の間

7/30(日)
奥州市文化会館開館25周年記念事業
「ラ・ボエーム」
出演:野田ヒロ子、伊藤晴、須藤慎吾、押川浩士
三浦克次、柿沼伸美 他
会場:奥州市文化会館Zホール

9/29(金)~10/1(日)
三越伊勢丹旅行チャータークルーズ
藤原歌劇団公演「カルメン」
出演:鳥木弥生、小林沙羅、藤田卓也、須藤慎吾
他
会場:クルーズ船にっぽん丸

受託コンサート

【2017年】

5/5(金・祝)
ソプラノマジック
出演:廣田美穂、光岡暁恵、山口佳子、折江忠道
浅野菜生子
会場:昭和音楽大学 ユリホール

お得で魅力一杯のJOF (日本オペラ振興会) 鑑賞会員

選べる! <JOFプレミアムシート>
2017/18シーズン

新規会員絶賛募集中!!

藤原歌劇団のオペラ公演を対象とした鑑賞会員システム<藤原プレミアムシート>が日本オペラ協会の公演もセットになってパワーアップしました!

<選べる! JOFプレミアムシート>と題して、好きな公演を最少2演目からお選び頂けます。

是非お気に入りの作品からニュープロダクションまで、カスタマイズしてオペラをお楽しみください!

*どの会員も数と期間に限りがございますので、お早めにお申し込みください。
詳細は、下記チケットセンターにお問い合わせください。

お問合せ：日本オペラ振興会チケットセンター 044-959-5067

**公益財団法人日本オペラ振興会に対する
ご寄付と賛助会員の募集について**

当振興会では団体運営及びオペラ公演維持等に要する資金を充実させるため、寄付金ならびに賛助会員募集により、篤志の方々のご後援をお願いしております。

◎寄付金

お申し込み金額はご随意で、一時払いまたは分割払いでお支払いいただけます。

◎賛助会員

賛助会費年額は法人30万円以上、個人10万円以上で、ご指定の時期に毎年お支払いいただけます。

◎税法上の優遇措置

当振興会は公益財団法人と認定されたため、当振興会への寄付金、賛助会費に対しては、法人、個人それぞれに税法上の優遇措置が適用されます。

<詳細のお問合せまたは資料のご請求>

日本オペラ振興会 TEL 03-6721-0995 FAX 03-6721-0997

～ 育成部 募集 ～

平成30年度 オペラ歌手育成部 募集告知

オペラ専門教育機関 ～日本で最も歴史のあるオペラ団体～

【研究生】 ～プロの舞台を目指すフレッシュな人材を募集します～

1. 修業年限 1～3年 *実力にあったコースから編入可能

2. 受験資格

● オペラ専門コース I

オペラ歌手として必要な基礎を学びます。

● オペラ専門コース II

歌唱表現の土台作りとオペラアンサンブルをさらに次のステップに向けてレベルアップします。

● オペラマスターコース

個々の成長に合わせて、本舞台に向けたオペラアンサンブルとオペラ全曲の研修をします。

※入所試験時に特に優秀と認められた方には奨学金が授与されます。

【選科生】 ～楽しみながらライフワークで歌を!～

*声楽個人レッスンとアンサンブルのグループ授業が受けられます。

1. 修業年限 1年 (次年度再受講可能)

半期コースは4月～9月と10月～3月の半年

2. 受験資格

● 声楽アミーチコース

18才以上

水曜日・土曜日 / 各曜日昼コース・夜コース

● 声楽ストウーディオコース

18才以上 音楽の学校等で声楽を1年勉強したものと同等の実力を有する者

水曜日 / 昼コース

要 項 請 求 募集要項および志願票の請求は下記宛てTEL、FAXまたは当財団HPにて。
育成部説明会は11月と1月に開催予定。

*詳細は、日本オペラ振興会ホームページをご覧ください。

お問い合わせ先：公益財団法人日本オペラ振興会 オペラ歌手育成部

〒215-0004 神奈川県川崎市麻生区万福寺1-16-6 昭和音楽大学北校舎内

TEL (044)969-7197 FAX (044)953-8693 ※午前10時～午後6時(土日・祝日休み) <https://www.jof.or.jp/training/>

**サテライト
教室**

アミーチ藤沢クラス 春期生 募集 (5月～10月)

選科生声楽アミーチコースのプレクラスとして、藤沢で開講中。日曜日にオペラ・アンサンブルを楽しく学べます。

◆開講日：日曜日 10:30～13:30(3時間の授業)

◆期 間：半年 / 授業回数15回(5～10月) + 発表会(別途費用)

場所：JR線・小田急「藤沢」駅南口より徒歩4分 *詳細はホームページ、又はオペラ歌手育成部までお問い合わせください。

**2017年4月9日・16日
春期生募集説明会開催**

授業見学は随時可能。
お電話でご予約ください。

公益財団法人 日本オペラ振興会事務局 総務・チケットセンター (4月1日より) 移転しました。

本部：

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前4-3-15-317

[総務] 03-6721-0995

[チケットセンター] 03-6721-0874 (平日10:00～18:00)

新百合ヶ丘事務所：

〒215-0004 神奈川県川崎市麻生区万福寺1-16-6

[事業部] 044-953-6411 [育成部] 044-969-7197